

第 67 回神奈川建築コンクール 一般建築物部門最優秀作品選評

「Bosch Fusion Project」

審査委員：野村 和宜

横浜市都筑区の「Bosch Fusion Project」は、グローバル企業の本社と研究所に加え、区民文化センターや広場を一体的に整備した計画である。地域社会に開かれた企業拠点として、公民連携の新しいかたちを提示した点が高く評価される。

研究開発部門を含む本社社屋において、セキュリティ計画を巧みに駆使しながら、市民に開放された空間を成立させている点は特筆すべきである。1 階にはカフェやロビーが設けられ、広場やホールと連携した文化的活動が日常的に展開できる構えとなっている。企業施設としての機能と地域への開放性が高次に両立しており、都市における企業建築の新しい姿を示している。

また、港北ニュータウンならではの丘陵地崖線の緑豊かな環境を視覚的に取り込み、建物内部の壁面緑化やアトリウムが呼応し、働く人や訪れる人に「潤いのある心地よい」空間を提供している点も魅力的である。外装に用いられた水平ルーバーは「地層」を想起させ、本社棟とホール棟で色調を変えることで、地域性と国際性の双方を表現している。

さらに、日常から大規模イベントまで対応可能な柔軟な計画も評価できる。広場とホールが一体的に利用できるほか、社員食堂をイベント時にセキュリティの外に切り離して開放するなど、利用形態に応じた運営が可能である。こうした計画は、地域のにぎわい創出と災害時の対応力を兼ね備えるものとなっている。

総じて、本作品は企業と地域が協働して都市の価値を高める先導的事例であり、今後の企業建築のあり方に示唆を与えるものといえる。